

# 郷音

山形県立産業技術短期大学校庄内校

【きょうおん】  
ふるさとの言葉づかい  
国なまりという意。



SHONAI COLLEGE OF  
INDUSTRY & TECHNOLOGY

SHONAI COLLEGE OF INDUSTRY & TECHNOLOGY

【教育振興会会報】 令和2年6月30日発行

第33号



上段：令和元年8月25日（日）宮城県石巻市にて震災学びのプログラムに参加。現地で語り部から震災当時の被災状況や復興状況の説明を受けながら、市内を視察しました。

下段：令和元年12月13日（金）酒田市飯森山にある南洲神社を訪問し、資料室に展示している西郷隆盛直筆の漢詩など貴重な展示物の説明を受け、当時の歴史や庄内南洲会の活動などについて学びました。

## 目次

- ごあいさつ、夢と希望に燃える令和2年度入学生・・・②
- 本校における新型コロナウイルス感染予防について・・・③
- 会員企業のご紹介・・・・・・・・・・・・・・④
- 各学科の教育活動・PR、学科名の変更・・・・⑤～⑥
- 企業実習（体験記）・・・・・・・・・・・・・・⑦

- 卒業研究発表会テーマ一覧・・・・・・・・・・・・⑧～⑨
- 令和元年度進路状況、就職先企業のご紹介・・・・⑩
- 受賞に輝く卒業生
- 令和3年度学生募集・・・・・・・・・・・・・・⑪
- 新任教員紹介・・・・・・・・・・・・・・・・・⑫



## ごあいさつ

山形県立産業技術短期大学校庄内校  
教育振興会 会長 弦 巻 伸

山形県立産業技術短期大学校庄内校は、技術の進展が著しい現代社会に対応できる人材を庄内で育成してほしいという、私たち庄内の産業界の要請にこたえて開校され、以来、当地域の即戦力となる優秀な人材を多数輩出していただいております。

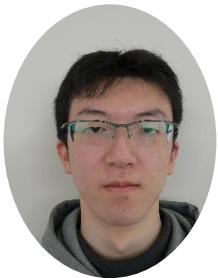
皆様には、学生の企業実習や校外学習などの実践的な職業能力開発へのご支援を賜るとともに卒業生の採用についてもご尽力をいただき、感謝申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の影響から、多くの学生が集まる企業説明会をはじめ2021年度就職希望者を対象とした採用関連イベントが中止や延期となるなど例年と違う状況が生じています。学生の不安を解消するため、多様な通信手段を活用した企業説明会や試験・面接の実施、複数回の選考機会の確保など、幅広い情報と十分な採用機会の提供をお願いします。

当教育振興会としましては、学生が地元企業に定着するよう働きかけていくとともに庄内校の活動を支援し、地域産業の振興に寄与して参りたいと思っております。皆様には、今後とも庄内校への温かいご協力をお願いいたしますとともに、会員企業の益々のご繁栄を祈念いたします。

## 夢と希望に燃える令和2年度入学生

### 生産エンジニアリング科 乙坂 隼

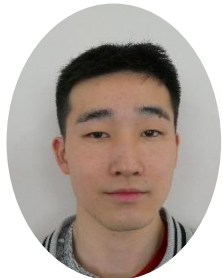


近年、ロボットやIoTなど新技術によって産業界は急速な発展を遂げていますが、その根本を支えているエンジニア職に自分は尊敬と強い憧れの念を抱き、自分も将来、それらの産業技術を身につけた機械技術者になることを目指して本校に入学しました。

現在は基本的な技能の習得のために旋盤などの実習に取り組み、技能検定合格を目標として取り組んでいます。

将来は本校で学ぶ3次元CADやCAM/CAEなどの高度な設計技術を学び、3Dプリンタを活用したものづくりなどに取り組み、実践的な技術を身につけたエンジニアとして活躍できるよう精進していきたく思います。

### 情報通信システム科 管 悠真



私は、システムエンジニアやプログラマーとして企業に貢献したいと考えています。そのためにも、資格やスキルを取得し、多くの仕事を任せただけのような人材になりたいです。1年次では、基本情報技術者試験に挑戦、2年次では、応用情報技術者試験などに挑戦していきたいです。また、実践的な実習を通じてプログラミング能力を伸ばし、アプリケーション開発やWebサイト作成に必要なスキルを身に付けたいです。目標達成に向かい努力を続けていきます。

### IT会計ビジネス科 伊田 菜々子



私は日商簿記検定1級を取得し企業会計のスペシャリストになるため、より高度な知識を身に付けたいと思い当校に入学しました。今年度から国際経営科からIT会計ビジネス科となり、簿記などのビジネス分野だけでなく、情報分野の知識も多く学べるようになりました。そのため、私の夢である公認会計士になるために必要な資格取得にも専念できます。

卒業後は県内企業に就職し、その企業の発展のために力を尽くしていきたいです。



## 本校における新型コロナウイルス感染予防について

山形県立産業技術短期大学校庄内校  
校長 尾形 健明

教育振興会の皆様には、日頃から、本校の学校運営、学生の教育訓練、企業実習や就職などにつきまして、多大な御支援や御協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

さて、今年は新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けるスタートとなりました。ウイルス感染により、人々の生活は一変し、経済面でも大変大きな打撃を受けております。生活が立ち行かなくなった方も多くおられ、学生の中にも学業の継続が困難な状況に追い込まれている者も出ているようです。

本校においても様々なイベントが規模の縮小や中止に追い込まれました。最初に影響を受けたのが3月19日の卒業式です。山形県内には感染者が出てはいませんでしたが、いわゆる3密を警戒しての措置でした。出席者を卒業生と教職員のみ限定して、座席を十分に離して実施しました。参加者全員がマスクをつけて、また消毒液を設置しての式典となりました。令和2年3月までの本校の卒業生は885名となり、就職率は、平成9年度の開校以来、ほぼ100%を達成しております。特に、県内就職率は86%であり、県内への就業に寄与しているところです。これもひとえに、教育振興会の皆様からの御支援の賜物であり、深く感謝申し上げます次第です。

次いで影響を受けたのが4月6日の入学式です。この時期では山形県内にも感染者が急増しつつありましたので、やむなく中止を決定した次第です。その後休校を余儀なくされ、5月11日から授業を再開しました。登校前の体温測定、手指消毒液の設置、マスク着用、ドアノブの定期的な消毒、こまめな換気、教室の座席間距離確保及びアクリルパーテーション設置などの感染防止対策を徹底し、現在に至っております。

このような状況の中、本校が有する技術による社会貢献の一環として、医療現場で役立てていただきたく、生産エンジニアリング科の3Dプリンタで顔全体を覆うフェイスシールドを製作し、日本海総合病院に提供しました。

新型コロナウイルス感染の終息が見えない状況において、私どもは学生と教職員の安全を第一に捉え、本校の技術を最大限に生かして努力してまいりますので、引き続き御支援、御指導を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

# Orientalmotor

オリエンタルモーター株式会社 鶴岡中央事業所/鶴岡西事業所



## ■会社概要

創 業 1885 年  
設 立 1950 年  
資 本 金 41 億円  
代 表 者 鶴岡カンパニー執行役員社長 岡島克之  
従業員数 674 名 (2020 年 4 月現在)  
事 業 所 鶴岡西事業所 (山形県鶴岡市大宝寺日本国 271-5)  
鶴岡中央事業所 (山形県鶴岡市宝田 1-13-30)  
H P <https://www.orientalmotor.co.jp/>  
本 社 東京都台東区東上野 4-8-1



▲オリエンタルモーターの取扱製品

## ■同社のご紹介

[概要] オリエンタルモーターは、精密小型モーターおよび制御用電子回路などの開発、製造、販売を行っています。たとえば、駅の自動改札、銀行の ATM や回転寿司のレーンなどの身近な動きから、病院の検査装置やスマートフォン・パソコンなどの電子機器に使われる半導体、電子部品の製造・検査装置といった最先端技術まで、私たちのモーターはさまざまなシーンで活躍しています。

[特色] 産業用小型モーターのリーディングカンパニーとして、動力用・制御用・冷却用など 50,000 種類以上の製品を取り揃え、長年にわたり蓄積された技術力、きめ細やかな営業力、国内外 100 ヶ所以上の販売網で世界中いつでもどこでもあらゆる「動き」のニーズに応えています。

[経営方針] 産業・医療・食品・交通など、あらゆる分野の時代に応じた動きを実現するために、私たちは最適な製品を開発し、世界中にお届けしてきました。これからも、新しい動きに応える企業として、社会や産業の発展に常に関わり続けていきます。



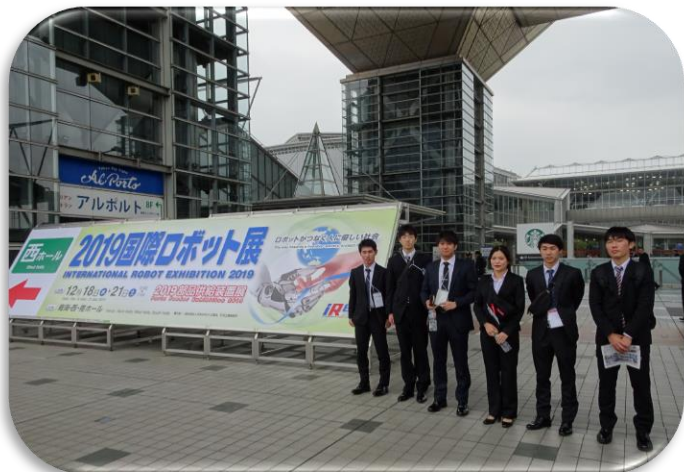
▲鶴岡中央事業所 宝田 1-13-30



▲鶴岡西事業所 大宝寺日本国 271-5

## 生産エンジニアリング科

会員の皆さまには何かとお世話になっております。昨年度（令和元年度）も就職率100%を維持することができました。これも皆さまのおかげと深く感謝申し上げます。2月には卒業研究発表会が開催されました。企業の方々をはじめ多数の方々をお迎えし、2年生は日ごろ取り組んだ研究課題について発表しました。



今年度から、新たに生産エンジニアリング科として進めていくことになりました。これまで、制御機械科としてものづくりのスペシャリストの育成を目標に、頑張ってきました。本校も創立から20年を経過し、社会情勢の変化、会員企業の皆様からのアンケート結果などを踏まえ、カリキュラムを見直し、科名も新たに生産エンジニアリング科となりました。カリキュラムとしましては、1年次、2年次前半はメカトロニクス技術についての学習を行います。その後、2つのコースに分かれ、それぞれの専門科目を学びます。コースとしては、工場の自動化（Factory Automation）技術やロボット関連技術等を学ぶ生産システムコースとコンピュータ支援による機械設計（3次元CAD）や加工技術（CAM）などを学ぶ機械システムコースになります。その中で、新たなカリキュラムと

して、製造工程の事前検討技術（CAE）や自動化生産システムの構築等があり、このような経験を通して、より専門的な学習をしていきます。また、習熟度別科目も設定し、出身高校などの状況も踏まえて進めていくことも行います。これまでの内容に加えて、新たなカリキュラムなどにより、ものづくりのスペシャリストを目指していきます。

昨今のコロナ禍で休校もありましたが、無事第1期生を迎えることができました。大変な状況ですが、学生も頑張ってお勉強をしているところであります。会員企業の皆さまにおかれましても、これまで以上のご支援、ご指導よろしくお願い申し上げます。

## 情報通信システム科

教育振興会会員企業の皆様には、日頃、様々なご支援をいただきまして、誠にありがとうございます。平成31年度も多くの学生が地元企業に内定をいただきました。これもひとえに会員企業の皆様方のご支援の賜物と感謝申し上げます。来年度からは当学科において、ビッグデータやAIを扱った授業も開始します。新時代に即した“情報通信システム科”であるよう教員一同努めて参ります。

電子情報科の学生としては最後になる2年生は、実践コース9名と基礎コース4名の合計13名です。早期に就職希望者全員の内定が得られるように学生と教員が一体となって就職活動に取り組んでおります。6月末時点で、既に6名が内定や内々定をいただいております。これからも全員が内定するまで活動してまいります。また昨年6月に、校外学習として幕張メッセで「Interop Tokyo 2019」を見学しました。アジア最大級の情報通信分野の展示会を見学することで、この分野の動向や最新のICT技術について理解を深めることができました。参加に当たり教育振興会様より学生に助成をいただきました。この場を借りてお礼申し上げます。ありがとうございました。

新学科名の情報通信システム科1期生である1年生は、実践コース7名、基礎コース12名の合計19名が在籍しています。本格的な授業は5月に開始されたところですが、徐々に学校生活にも慣れてきたところです。各自が、「システムエンジニアになりたい」、「資格試験に合格したい」、「ビッグデータやAIの学習も頑張りたい」と目標を持ちながら、日々学習を頑張っています。今年は、新型コロナウイルスの影響で、校外学習や企業実習等、振興会企業の皆様には、例年以上のご支援を賜ることが多くなっていくかと思っております。今後ともご指導の程、よろしくお願い申し上げます。

## IT会計ビジネス科

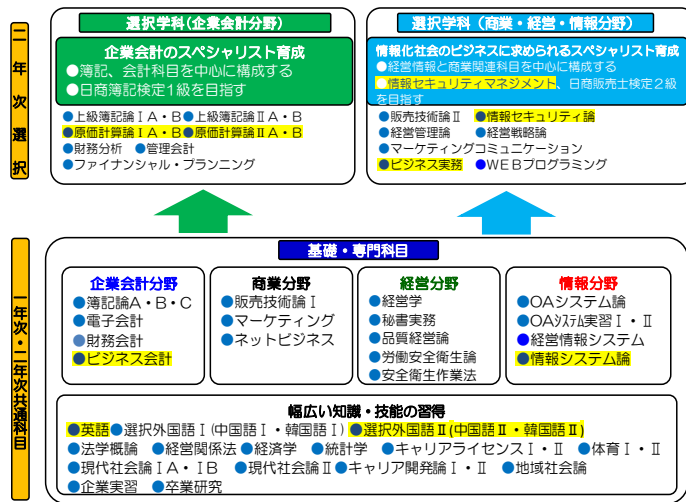
令和2年度入学生より、産業界のニーズに基づき「企業会計のスペシャリスト」と「情報化社会のビジネスに求められるスペシャリスト」を育成することを教育目標にIT会計ビジネス科がスタートいたしました。

IT会計ビジネス科におきましては、国際経営科におけるカリキュラムをベースに、これまで以上に地域の産業界からのニーズや高等学校での学びとの接続性を考慮したカリキュラムを編成しております。ここでは従前のカリキュラムからの変更点を中心に、新学科のカリキュラムの特徴を紹介いたします。

- ①日商簿記検定の合格状況に応じてクラスを分け指導を行う、習熟度別科目を拡充いたしました。これまでの「簿記論」、「上級簿記論Ⅰ」、「上級簿記論Ⅱ」に加え、「原価計算論Ⅰ」、「原価計算論Ⅱ」の2科目を新設しよりきめ細かい指導を行ってまいります。
- ②情報系の国家試験であるITパスポート試験(level1)に対応した科目に加え、情報セキュリティマネジメント試験(level2)に対応した「情報セキュリティ論」を新設いたしました。これは産業界からのニーズに加え、高等学校の総合学科における情報教育との接続性も考慮したものです。
- ③秘書技能検定の学習を通して習得したビジネス実務全般の知識を実践する科目として「ビジネス実務」を新設いたしました。「ビジネス実務」では接客・ビジネスマナー・ビジネスコミュニケーション等を学びます。
- ④国際経営科におきましては、2年次に「簿記会計コース」「ビジネス情報コース」に分かれるコース制を採用していましたが、コース制を廃止し選択科目制といたしました。これにより学生の選択可能科目数が増加し、多様な進路に柔軟に対応できる体制となりました。

令和3年度につきましても、教育振興会会員企業様をはじめとする地域産業界からの要望や地域の産業構造に沿った形でさらにカリキュラムを充実させ、地域経済のリーダーとなり得る人材の育成に努めてまいりますので、なお一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

### 令和2年度入学者・IT会計ビジネス科カリキュラム図



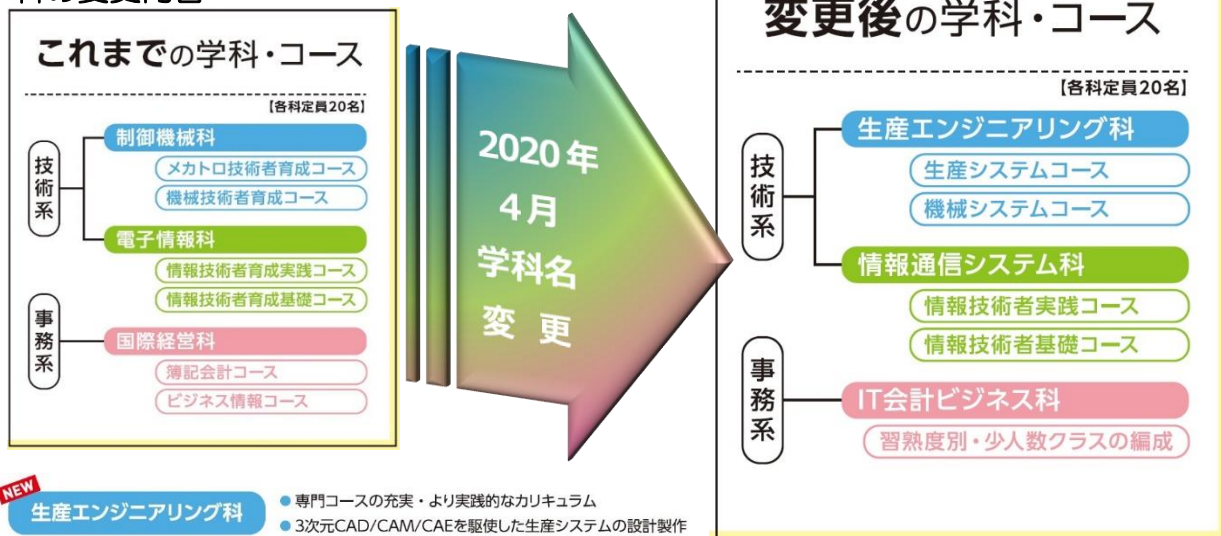
2020年(令和2年)4月

# 庄内校は新しいステージへ!

## ■ 学科名及びコースの見直し

産業技術短期大学校庄内校は、産業社会の変革に対応した人材を養成するため、2020年4月に学科名と一部のコース名の変更を行いました。

## ■ 学科の変更内容



**NEW** **生産エンジニアリング科**

- 専門コースの充実・より実践的なカリキュラム
- 3次元CAD/CAM/CAEを駆使した生産システムの設計製作

**NEW** **情報通信システム科**

- ビッグデータ分析やAIに関する科目の新設
- ネットワーク・IoT・アプリ開発までICT技術についての実践的なカリキュラム

**NEW** **IT会計ビジネス科**

- 医療事務関連科目の新設(メディカルクラーク®の取得)
- クラウド会計やRPA(Robotic Process Automation)が学べる実践科目の新設

## 全学科企業実習

学生が企業社会の実情に触れ、職業人としての自覚と学習意識の向上を図るため、3学科の1年生全員を対象に11月から2月にかけて企業の皆様のご協力を得て、企業実習を実施しました。

### 実習先：阿部エンジニアリング株式会社

#### 制御機械科2年 佐藤 匠

私は、阿部エンジニアリング株式会社で企業実習をさせていただきました。この会社ではクライアントのニーズに応じた産業機械の設計・製造、据付工事、メンテナンスの全工程を自社で行っています。実習では、図面をみてのアルミフレームの組み立て作業や、CNC旋盤での加工をさせていただきました。今回の実習を通して、いろいろな仕事内容や仕事をする責任を学びました。この経験を就職活動などに生かし、社会に出てからも頑張りたいと思います。ご指導してくださった阿部エンジニアリング株式会社の皆様、本当にありがとうございました。



### 実習先：株式会社管理システム

#### 電子情報科2年 庄司 光平

私は、株式会社管理システムにて、システム導入の業務体験をさせていただきました。納入予定のパソコンを初期設定する業務では、現場でのスムーズな導入へ配慮した設定確認を心がけるようご指導をいただきました。開発技術に関する講義では、AI（人工知能）の仕組みや将来性、現場利用の課題など、技術者視点からの貴重な知識や考え方を勉強できました。実習を通して最も印象的なことは、技術者としての心構えを学べたことです。技術を丁寧に理解し、その変化に柔軟に対応する謙虚な姿勢を持つことが、自身を成長させる近道であることをご教授いただきました。株式会社管理システムの皆様にご指導いただいた経験を糧に、精進して参ります。



### 実習先：オリエンタルモーター株式会社

#### 国際経営科2年 海谷 美怜

私は、オリエンタルモーターで企業実習を行わせていただきました。実習では、生産企画部において、生産管理業務（納期調整補助）や経理業務（資産登録確認、経費推移グラフ作成、仕入日報金額照合）など行いました。普段学校で学習している簿記の実務的な内容を経験でき貴重な体験ができました。

また、5日間という短い間の中、仕事に対する責任の持ち方など、改めて学ばなければならない課題を見つけられ、非常に有意義な時間を過ごすことができました。オリエンタルモーターの皆様、大変ありがとうございました。



（紙面の都合上、受入れいただいた企業への感想等全てを掲載できなかったことをご容赦ください。）

## 卒業研究発表会『テーマ』一覧 《令和元年度卒業生》

2月26日から27日までの2日間、本校の大講義室において令和元年度卒業生の卒業研究発表会を開催しました。2年間の集大成として取り組んだテーマの要旨を掲載していますが、詳細については、指導教員にお問合わせください。

令和2年2月26日（水）

学科名 制御機械科

番号	テ ー マ	要 旨	発表学生	指導教員
1	「時間研究」教材の開発	標準時間を算出するための手法についての実習用教材を開発した。	梅木 亮	飛田 成浩
2	エコラン競技車両の製作	本田宗一郎杯 Honda エコマイレッジチャレンジ全国大会出場に向けた車両を製作した。	白旗 巧 吉泉 友翔	津田 勇
3	技能検定シーケンス制御作業2級受験マニュアルの改良	技能検定シーケンス制御作業2級を受験するにあたり、スムーズな知識習得と、多くの合格者を出すことを目的としたマニュアルの作成を行った。	伊藤 晴季	佐藤 義則
4	旧型産業用ロボットの再生	経年したメカトロニクス機器において、制御コンピュータ・アクチュエータ・電装を刷新することにより継続的に利用可能となる。旧式教育用垂直多関節ロボットを取り上げ、再生を試みた。	伊藤 雄矢	新居 徹哉
5	Unityを用いた制御システムの開発	ゲーム開発用プラットフォームであるUnityを用いて、ロボット制御のための教示機能を持ったプログラム開発環境を構築した。	上野 史都	
6	「縄文の女神キーホルダー」用簡易金型の製作	「縄文の女神」のキーホルダーを成形するためのアルミ合金製簡易金型を3次元CAD、SolidWorksにより設計・製作した。	奥山 孝生	庄司 英明

令和2年2月27日（木）

学科名 電子情報科

番号	テ ー マ	要 旨	発表学生	指導教員
1	学科紹介ビデオ制作	広く学科をPRするための紹介ビデオを制作した。作成する上で、制作のコンセプトを明確にし、動画編集ソフトの選定及び、用途に応じた各種バージョンを作成した。	八鍬 真宏	渡辺 雄二
2	技能五輪予選選考会ITネットワークシステム管理職種の傾向・対策	技能五輪予選選考会ITネットワークシステム管理職種について、過去に行われた競技内容を電子化すると共に、その傾向を分析した。さらに、今後開催される競技への対策を検討した。	門田裕次郎	開沼 和広
3	家族で楽しめるVRゲームの開発	家族の各世代の誰でも楽しめるVRを利用したゲームを開発した。VRゴーグルを装着し、3D空間内においてニンジン収穫することでスコアを競う。ゲームのルールをシンプルにすると共に、各世代による優劣を減らす工夫を施した。	村上 裕梨 高橋 和生	萬年 亨
4	農産物生産データ管理システムの開発～ローコード開発導入の検討～	庄内地方でのベビーリーフのハウス栽培向けに、生産データ管理システムを昨年度より開発している。今後見込まれる開発コスト低減を目的とし、ローコード開発ツールを利用したシステムの試作を行い、開発期間の短縮が実現可能か検討した。	伊藤 颯 齋藤 優也	工藤 智子
5	VRを利用した運動不足解消システムの開発	屋内での運動を習慣化させることを目的とした、VRを利用した2種類の運動不足解消システムを開発した。1つは、3Dの水中空間内にて、自分がモデリングしたオブジェクトを動かして、それを捕まえることにより上半身の運動を促すシステム、もう1つは、VRの360°映像とエアロバイクを組み合わせることにより、下半身の運動を促すシステムである。実生活へ適用できるシステム開発を目指した。	荒木 直人 齋藤 駿介 南間 優太	吉田 明弘 芝田 浩



令和2年2月27日（木）

学科名 国際経営科

番号	テ ー マ	要 旨	発表学生	指導教員
1	スループット会計に関する一考察 — 活動基準原価計算との比較に基づいて —	小松（2019）では伝統的原価計算の代替案として提唱された活動基準原価計算の研究が行われた。しかし、スループット会計という別の視点からのアプローチをした計算方式を知った。双方の長所、短所を分析し最適な適用場面について考察を行う。	太田 信侃	鷹觜 直也
2	地域通貨に関する一考察 — 酒田市での実現可能性について探る —	法定通貨とは異なる、ある特定のコミュニティでのみ使用可能な地域通貨が地域活性化に繋がった事例が散見される。本研究では主に日本国内での過去の地域通貨流通事例分析を行い、酒田市での地域通貨導入の実現可能性を人口、商店規模等の観点から探る。	鈴木 香穂	
3	株式会社ライザップの経営戦略	株式会社ライザップは、テレビのビフォーアフターCMで成長した企業である。また、企業買収にも積極的に取り組んでいる。本研究では、いかにしてライザップは成長拡大したのか、同業他社と比較して、ライザップの経営戦略を考察した。	加藤 ゆり	佐藤 圭治
4	農業協同組合と農業の6次産業化に関する研究	農林漁業者の高齢化や後継者不足、所得の低下等の問題に対し、様々な6次産業化の取組みが行われた。本研究は、これまでの現状と浮き彫りになった課題を踏まえ、農業生産者と農業協同組合の連携による農業の6次産業化を通じた利益創出・活性化について考察する。	石井 和	佐々木 健
5	平成の大合併により市に編入された旧町村区域の地域振興に関する一考察 — 山形県酒田市・旧平田町を事例として —	平成17年に酒田市、平田町、八幡町、松山町が合併し、新酒田市が誕生した。平成の大合併から10数年が経過し、各自治体の合併の成否に関する検証作業や研究が始まったところである。本研究では酒田市の旧平田町区域を事例として旧町区域の地域振興策について考察を行う。	石黒紀里子	原田 文規
6	社会情勢が商品先物取引「貴金属類」に与える影響	商品先物取引「貴金属類」の価格は様々な社会情勢により変化している。「金」「銀」「プラチナ」「パラジウム」の4銘柄についてそれぞれの特徴をまとめ、社会情勢が価格変動にどのような影響を与えているのか、要因を考察することを目的とする。	清野 翔太	吉田 勝紀
7	オリジナル庄内弁 LINE スタンプ販売までの道	LINE スタンプは現在スマートフォンのみで作成から販売まで行える。クリエイターが参入しやすくなりクリエイターズスタンプ数は300万種類を超えた。そこでどのように販売まで行っているのか興味がわき、題材として庄内弁を使用したデザインのLINEスタンプの作成、販売を行う。	佐藤 萌衣	高橋 永子

## 令和元年度 進路状況

項目 学科名	卒業者	就職 希望者	就職 内定者	地域別内訳						就職 内定率 (%)
				庄内 地区	村山 地区	最上 地区	置賜 地区	県内計	県外計	
制御機械科	7	7	7	5	0	1	0	6	1	100
電子情報科	9	9	8	6	0	0	0	6	2	88.9
国際経営科	7	6	6	3	1	0	0	4	2	100
計	23	22	21	14	1	1	0	16	5	95.5

## 就職先企業のご紹介（五十音順・敬称略）

制御機械科	電子情報科	国際経営科
オリエンタルモーター株式会社 鶴岡中央事業所	株式会社オープン・システム・ソリ ューションズ	株式会社さくらインベスト
株式会社グローバルマシーン	株式会社管理システム	株式会社庄交コーポレーシ ョン
株式会社スタンレー鶴岡製作所	株式会社庄内食肉公社	株式会社セノン
日本電設工業株式会社	ソニーセミコンダクタマニュファク チャリング株式会社	株式会社ダイユーエイト
山形クラッチ株式会社	株式会社ティディイー	日本電算機販売株式会社
株式会社ヨコタ東北	株式会社平田牧場	株式会社ヤマザワ薬品
株式会社ヨロズエンジニアリング	富士ソフト株式会社	
	松岡株式会社	

## 受賞に輝く卒業生

令和元年度卒業式が3月19日に行われ、卒業研究や2年間の学業成績が特に優秀だった学生、学習へ取り組む姿勢や日常活動が他の模範となった学生が表彰されました。

山形県知事賞	国際経営科	太田 信 侃
学校長賞	制御機械科	伊藤 雄 矢
	電子情報科	南間 優 太
教育振興会長賞	制御機械科	吉泉 友 翔
	電子情報科	荒木 直 人
	国際経営科	清野 翔 太



写真：後列（左から）吉泉友翔君、荒木直人君、清野翔太君  
前列（左から）伊藤雄矢君、（尾形校長）、太田信侃君  
南間優太君

# 令和3年度学生募集

## 1 募集科・募集定員

生産エンジニアリング科	20名
情報通信システム科	20名
情報技術者実践コース（実践コース）	
情報技術者基礎コース（基礎コース）	
IT会計ビジネス科	20名

## 2 入学試験日程

	出願期間	試験日	合格発表	入学手続期間
推薦入学試験	10月19日(火) ～	11月7日(土)	11月12日(木)	11月16日(月) ～
社会人特別入試（第1期）	11月2日(月)			11月30日(月)
一般入学試験 （前期）	11月16日(月) ～	12月5日(土)	12月10日(木)	12月14日(月) ～
社会人特別入試（第2期）	11月30日(月)			12月28日(月)
一般入学試験 （中期）	12月21日(月) ～	1月23日(土)	1月28日(木)	2月1日(月) ～
社会人特別入試（第3期）	1月18日(月)			2月15日(月)
一般入学試験 （後期）	3月8日(月) ～	3月24日(水)	3月26日(金)	3月26日(金) ～
社会人特別入試（第4期）	3月22日(月) ※1			3月30日(火) ※2

※1 出願期間は、3月22日(月)12時まで

※2 入学手続期間は、3月30日(火)12時まで

## 3 募集区分

		生産エンジニアリング科	情報通信システム科		IT会計ビジネス科
			実践コース	基礎コース	
推薦 入学試験	一般推薦	●	●	●	●
	指定校推薦	●	●		●
一般 入学試験	前期	●	●	●	●
	中期	●	●	●	●
	後期	●	●	●	●
社会人特別入学試験		●			●

## 4 試験科目（全ての入学試験に面接試験有）

		生産エンジニアリング科	情報通信システム科		IT会計ビジネス科
			実践コース	基礎コース	
推薦 入学試験	一般推薦	数学Ⅰ ※1	数学Ⅰ ※2	数学Ⅰ ※2	小論文
	指定校推薦	面接のみ	面接のみ		小論文
一般 入学試験	前期	数学Ⅰ	数学Ⅰ	数学Ⅰ	国語総合・現代文B 小論文 ※3
	中期	数学Ⅰ	数学Ⅰ	数学Ⅰ	国語総合・現代文B 小論文 ※3
	後期	数学Ⅰ	数学Ⅰ	数学Ⅰ	小論文
社会人特別入学試験		数学Ⅰ			面接のみ

※1 技能検定（3級以上）合格者は、数学Ⅰの試験免除有

※2 ITパスポート試験合格者は、数学Ⅰの試験免除有

※3 日商簿記（3級以上）等合格者等は、国語総合・現代文Bの試験免除有

## 事務局

### 庄内校新任職員紹介

### 敬称略



教務学生主幹（兼）教務学生課長 日塔 真之

教務学生主幹の日塔真之と申します。庄内地方での勤務は初めてですので、ご指導よろしくお願いいたします。教育振興会の皆様には、学生の企業実習の受入れや教育活動に対し協力、ご支援をいただき、深く感謝申し上げます。今後、様々な場面で本校のPRを行い、認知度向上と定員の確保に努めるとともに、求人企業との橋渡しを行うなど、学生の就職支援に積極的に取り組んでまいります。



教務学生主査 石垣 俊朗

鶴岡市茅原にある県立こころの医療センターから赴任しました。出身は酒田市です。昔バレーボールをやっていたため、当校体育館で練習しているアランマーレの試合をたまに観戦に行きます。

教務学生課では、学校行事の企画運営、学生に関する事務等を担当しています。学生の皆さんの学校生活をサポートできるよう頑張ります。



高校連携コーディネーター 井上 利也

高校連携コーディネーターを務めさせていただき井上利也と申します。高校生及びその保護者に、これまで以上に本校を進路先として選んでいただけるよう努力したいと思っております。加えて、明日の地域を担う青年を陰ながら支援できればと考えますので、どうぞよろしくお願いいたします。



企業連携コーディネーター 金内 秀志

時代が変遷し、COVID-19のような世界的な危機に直面しても、企業との連携のもと地域で必要とされる人材を輩出することが、地域経済の発展をささえる産技短庄内校の存在意義です。学生のみなさまには、恵まれた教育環境のもと、充実した教師陣とともに、次世代産業をけん引する技術者として大きく成長できますよう、そのためのお手伝いをいたします。

酒田生まれで、初めて酒田の勤務地に来ることができました。微力ながら産技短庄内校が輝きを増し、いつの日か酒田からグローバル企業が芽吹くことを夢見て、がんばります。



庶務・会計事務員 杉山 典子

総務課で庶務・会計事務員としてお世話になっております。

学生のみなさん、教職員の方々々が楽しく充実した学校生活を送れるよう、お手伝いができれば幸いです。どうぞよろしくお願い致します。

### 編集発行

山形県立産業技術短期大学校庄内校教育振興会

〒998-0102

山形県酒田市京田三丁目57番4号

TEL0234-31-2300・FAX0234-31-2770

### 編集後記

新型コロナウイルス感染防止のため、社会・地域全体で「新しい生活様式」を実践するライフスタイルが求められています。学生生活では、授業時間変更、夏季休暇短縮、オンライン面接、アルバイト減少など様々な影響が生じています。

会員の皆様には、これからも温かい御支援をお願いいたします。